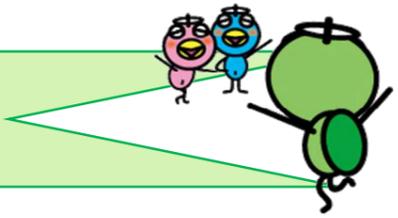




# 「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト

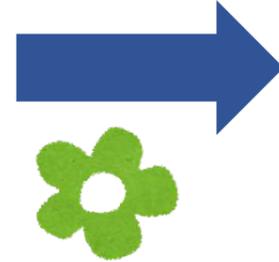
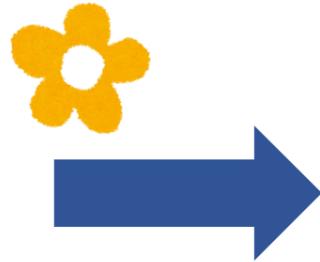


## 認知症ガイドブックを活用した啓発活動



### ～ 中間市民生委員児童委員協議会 ～

「地域の中で心配な人が増えている！」コロナ禍で深刻化する地域課題にいち早く気付いたのは民生委員さんでした。その気付きがきっかけとなり誕生したのが「認知症 なかまで備え 支え合うプロジェクト」です。令和5年度最初の活動は、民生委員さんの手で認知症ガイドブックを配布し地域のみなさんに認知症について正しく理解してもらうための啓発活動です！



まずは委員さんが出席する協議会でガイドブックについて説明しました。

そして民生委員さんの手から直接、地域の方へガイドブックを渡しました。

認知症について正しく理解してもらうことができ、なかまのなかま誕生です♪



### ★中間市民生委員児童委員協議会 中原会長へインタビュー★

- ・「認知症 なかまで備え 支え合うプロジェクト」が始まり、変化したことを教えてください。民生委員もコロナで色々な人と接する機会が減った事を痛感していました。地域の方々にももう少し啓蒙活動の仕方を考えないと思っていた所、このプロジェクトが始まり、介護保険課の方々も民生委員のアピールをして下さった事、感謝です。まず、地域の方々も、認知症に関心を持ってきた事ですし、私も言動などがおかしいと心配な人が何人かいることに気がついた事です。
- ・行政と協働してみて感じたことを、お聞かせください。距離が近くなり、何でも相談しやすくなった。色々な情報が得られやすくなった。
- ・これからの展望について、お聞かせください。

「なかまのなかまカフェ」について、幅広い人を対象にしている事は今の時代、大変良い事だと思うし私達も、その方々と接してゆきたいと思っています。



中原会長





# 民生委員児童委員協議会

## 筑豊ブロック研修会



令和5年6月26日(月) なかまハーモニーホール

直鞍地区、嘉飯地区、中遠地区の民生委員児童委員さんが対象の筑豊ブロック研修会。今回のテーマは認知症です。「認知症の人への支援について」の講演後、「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクトや、「おひとりさまのつどい」についての事例発表をしました。

民生委員・児童委員協議会 筑豊ブロック研修会  
中間市の取り組みについて

福岡県 中間市保健福祉部 介護保険課  
第1層生活支援コーディネーター 原 舞

認知症についての支援が切れ  
不安 不安 不安 不安  
大事な家族の中で認知症の人が増えてきたよ！  
コロナ禍による自粛生活で認知機能が低下  
認知症に対する偏見をなくして高血圧や糖尿病をコントロールするのと同じように認知症であることも隠さずに言いたい！  
認知症になって苦手なことが増えても「助けてほしい。」「協力してほしい。」「できることは自分でやりたい。でも、できることは自分でやりたい。」  
認知症が家で備え 支え合うプロジェクト  
地域のおみなさん、専門職、民間企業、学識者、行政、その他協力してくださる全ての人々が「中間市における認知症支援」にこれまでにあった思いを持つこと  
支援する方もされる方もないお互いのまちづくり

四役会 総務会 協議会  
地域課題 信頼関係 つなぐ 協働 市役所

いつも顔の見える場所にいることで、委員さんとの信頼関係を構築することができているのだと感じています。私たちも、しっかりと地域の中で汗をかき、地域活動のフロである委員さんに地域のことを教えていただきながら協働することを第一に考えています。

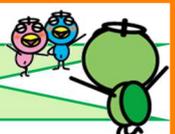


研修：「認知症の人への支援と民生委員としての関わり方について」  
講師：福岡県認知症介護指導者 中村 益子氏

### 対応の原則

- ・相手を変えることは難しい！相手のペースに合わせる。
- ・上手いかなんかが当たり前！
- ・「わからない」と決めつけず、話しかける。
- ・家族団らんをできるだけ多くもつ。
- ・調子のよい時に楽しいことをする。
- ・急がせない！待つ！
- ・自尊心に配慮する。
- ・「だめ」「違う」→危険でなければ、まずは見守る。そして一緒にやってみる。





# 認知症サポーター養成講座



## 学生向け講座（中間高等学校）

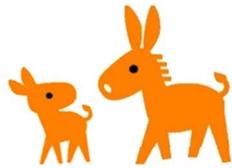
福岡県立中間高等学校の2年生と先生方（195名）を対象に、認知症サポーター養成講座を実施しました。認知症と物忘れについてのクイズや、認知症の人への対応方法の動画を観て「認知症」という言葉を身近に感じ、高校生の自分に何ができるかを考えてもらうきっかけとなりました。



### 《アンケート》

**認知症になっても、どんなまちなら暮らしやすいですか？**

- ・何かあったときに頼れる場所があるまち
- ・思いやりをもって助け合うことができるまち
- ・人と人との繋がりがああるまち
- ・自分が認知症であることを言い合えるまち



## 専門職向け講座（一般社団法人クレイン）

中間市内の介護事業所コピー又なかまの職員研修で、認知症サポーター養成講座を開催し、就業時間終了後にもかかわらず32名の専門職が真剣な様子で受講しました。「それぞれの人に合った接し方、対応方法を普段の業務にいかしたい。」「講座を聞いて初心に戻り、また介護を頑張りたい。」とプロならではの意気込みを聞くことができました。



### 《アンケート》

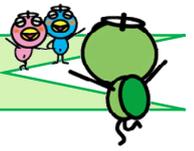
**もし、あなたが認知症になったら、どんなふうに接してほしいですか？**

- ・出来ることは自分で出来るようにサポートしてほしい
- ・偏見を持たずに一人の人間として接してほしい
- ・言動行動を否定しないでやさしく寄り添ってほしい
- ・特別扱いをせず、普通に接してほしい





★「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト★



# オレンジガーデニングプロジェクト

～ 中間市を花いっぱいにする会 ～



知っていますか？オレンジ色の意味・・・。

オレンジ色は、**認知症啓発のシンボルカラー**です。

認知症を正しく理解し、認知症であってもそうでなくても住み慣れた場所で安心して暮らしていけるように願いを込めて、「中間市を花いっぱいにする会」のみなさんと協働し、市内各所にオレンジ色の花を植えました♥



中間市役所 正面玄関前



保健センター前



やすらぎ通り



市内のお花屋さんが  
日々草の苗を寄贈して  
くださいました！



体育文化センター入口



中間市では、地域のみなさんと共に地域課題を解決するため  
**認知症 なかまで備え 支え合うプロジェクト**を推進しています！  
詳しくは、**中間市公式ホームページ**をご覧ください。



HPはコチラへ



# ★「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト★



## 認知症 なかまで備え 支え合う交流会 ～東校区まちづくり協議会～

「東校区でも認知症について取り組もう！」これまでのプロジェクトの活動報告を受けて東校区のまちづくり協議会が立ち上がりました！プロジェクトで作成した認知症動画を題材に「認知症 なかまで備え 支え合う交流会」のスタートです！！



### 第一回 本町自治会

記念すべき第1回目は、本町自治会♪自作のチラシで周知するなど自治会長さん、サロンのお世話役さんの活躍で公民館は満員御礼！まちづくり協議会の役員さんも見学に来られ、更なる広がり期待できそうです！

本町自治会のみならず、

開催日 令和5年7月21日  
本町自治会

「認知症、なかまで備え、支え合う」をテーマに本町認知症支援センター・東校区まちづくり協議会・本町ふれあいセンターの協力で下記の通り、女性会を主催します。多人数参加を目標としております。

ふれあいセンターのメンバー出席の形、弊社の片道参加、火曜までです

本町認知症支援センターは令和5年2月14日イギリスで開業された「第4回 認知症とデジタルハイパーメディアーションに関する国際学会」において、「認知症、なかまで備え支え合うプロジェクト」について第一の発案地である日本を代表して中野村が取り組むこと発表されました。

期 日

開催場所 本町ふれあいセンター（本町） 申し込みは本町公民館の予定です。

議題 認知症講話（認知症の予防の話題もあります。）

※ 青竹ふみ体操、ゲーム等でお楽しみも考えております。

※ 公民館の空いていない場合は、趣意を事務局へお知らせください。

※ 参加の都合上、決断人数を超過した場合は、予約ご本人となります。

期 日

参加者氏名	参加者氏名	参加者氏名



～プログラム～

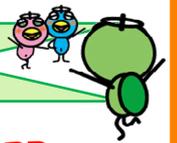
- 1：講義  
認知症でもこわくない！
- 2：青竹ふみ体操
- 3：輪投げゲーム

認知症講義はクイズや動画を含めた1時間コース。その後は青竹ふみ体操で介護予防。手作りの青竹をお土産に渡すと参加者のみなさんは「家でもやるね！」と嬉しそうな様子でした。この取り組みも住民主体です!!後半の輪投げゲームも和やかな雰囲気最終笑顔が絶えませんでした♡





# 「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト



## 中間市役所 市民ホール展示 ～ 世界アルツハイマー月間 ～

9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、中間市役所1階市民ホールにて認知症への理解啓発のための展示を行いました。認知症や若年性認知症の説明、「認知症なかまで備え 支え合う」プロジェクトの報告のほかに、今年度より実施している「なかまのなかまカフェ」の実施内容と活動写真を掲示しました。一ヶ月間、毎日たくさんの方が足を止めて見てくださいました♡



認知症になっても、どんなまちなら暮らしやすいですか？



認知症プロジェクト

認知症ガイドブック

認知症について正しく理解し、共に支え合える中間市になるよう、これからも情報発信をしていきます！



## オレンジガーデニングプロジェクト ～ やすらぎ通り 第2弾 ～

アルツハイマー月間に入り、「中間市を花いっぱいにする会」のみなさんと一緒に花壇の除草作業やオレンジ色の花を植栽しました！「一人でも多くの人に注目してもらえるように」と会長のアイデアでハート型に可愛く植えてみました♡



今回もボランティアさんや、市内のお花屋さん等、たくさんの方の力で実現することができました。地域、民間、専門職、行政等が協働し、向こう三軒両隣を構築するのが生活支援体制整備事業の特徴です。

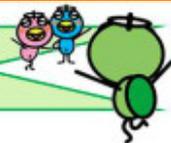


花壇には取り組みの周知のために、オレンジガーデニングの資料も掲示しています。やすらぎ通りは人通りも多く、人目に付きやすい場所なので認知症の理解啓発に最適です！！





★「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト★



# オレンジガーデニングコンテスト

認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色の花を植えて、認知症への理解を深めようと開催したオレンジガーデニングコンテスト。市内在住の方や、事業所、団体を対象に募集をかけたところ16作品の応募があり、その内の5作品が入選しました。応募された作品には個性が光り、どれも素敵でした。

金賞



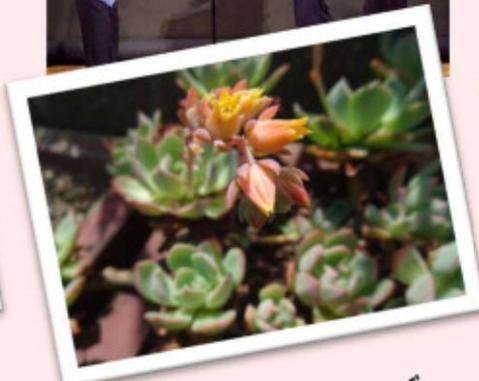
柴田 昌枝さん



銀賞



濱田 ミサエさん



銅賞



中間市老人クラブ連合会



特別賞



中間市を花いっぱいにする会



エフコープ賞



岩尾 昇さん



市長賞



嬉里 英子さん



今回、応募いただいたみなさま、また協賛していただいたエフコープ生活協同組合さまに心より感謝申し上げます。

